第187号（2001年12月）

調査と情報

編集・発行
㈱農林中金総合研究所基礎研究部
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3
TEL. 03-3243-7331
FAX. 03-3246-1984
URL：http://www.nochuri.co.jp
E-mail：kaneko@nochuri.co.jp

商品の正しい表示は協同組合の原点

小泉政権は、市場経済は弊害をともなうということを十分認識していない。

小泉政権の構造改革は、市場経済の時代に合わせて、諸制度を改革しようとするものである。それは、痛みを伴い、摩擦を引き起こし、批判も少なくないが、基本的には正しい方向である。しかし、「聖域なし」ということで進められている改革の対象の中に、協同組合が含まれていないのは何故であろうか。このことは、協同組合が、小泉政権からは、市場経済の時代に働かなければならないものとして期待されていないことを示している。そして、市場経済は弊害をともない、その弊害の是正・予防には、協同組合のような市場経済の外の力が必要であることが、理解されていないことを示すものである。

協同組合は、規制の下で発展してきたが、そもそも、市場経済が世の中に浸透しはじめた時代に、歴史の上に登場してきた。そして、市場経済の弊害の一つである営利主義の弊害を、自ら事業を営むことを通じて、是正し、予防することを使命として登場した。

営利主義は、市場経済を動かす原動力であるが、利益のためには不法、不正、不当、不道徳もあえて辞さないものである。それは、さまざまな形で表れるが、最も頻繁に出てくるものの一つに、商品の表示の虚偽、すなわち、品質や量目のごまかしがある。

ロッチデイルの公正開拓者組合の人々は、小麦粉の取り扱いに力を注いだ。当時、小麦粉の中に石灰を入れたり、目方をごまかしたりする悪徳商人がいたためと伝えられる。

日本の農協の祖として伝えられているのは、明治の初めの生糸や茶の販売組合である。当時、生糸や茶は、輸出品として伸びていたが、一方で粗悪品も増えていた。そこで、自分達が出荷するものには責任を持つという協同組合が結成された。

すなわち、取扱商品の表示が信頼されるというところに、協同組合の原点があったのだ。

今や、再び市場経済の時代がやってきた。規制の下では逼塞していた営利主義が、大手を振って横行する。協同組合は、その原点に帰って、営利主義の弊害に立ち向かわねばならない。それによって、市場経済における協同組合の役割が世に認められる。そうなれば、遅れている協同組合の構造改革にも手がつけられるようになろう。協同組合の構造改革とは、協同組合法制を市場経済の時代にふさわしいものに改めることで、現在の縦割り法制を廃し、組合員資格も、事業内容もまったく自由な「統一協同組合法」を制定することである。

（監査役　炭本昌哉）

今月のテーマ：食品の表示システム

商品の正しい表示は協同組合の原点 …… 1
健康と食品…… 2
消費者の求める水産物の表示制度……3～4
遺伝子組換え食品の表示制度について …5～6
南フランスに見る表示への取組み実態…7～8
ぶっくレビュー『ファストフードが世界を食いつくす』… 9
あぜみち……10
虹のかけ橋……11
統計の眼「林家の山林作業に関する動向」…12
編集後記……12